



## だ ん ご な ら し

1月14日、栗源保育所で、農作物の豊作を願う行事「だんごならし」が行なわれ、園児が榎の木の子にだんごを飾りつけました。

## 12月定例会

# 一般会計補正予算など22議案を可決・承認 市立幼稚園・小中学校普通教室にエアコンを設置

平成25年12月定例会は、12月3日から12月20日までの18日間にわたり開催されました。本定例会には、平成25年度香取市一般会計補正予算議案など22件、陳情1件が提出されました。

3日の初日は、諸般の報告・会期の決定の後、歳入歳出予算に4億2836万2千円を追加し、補正後の総額を346億9431万9千円とする補正予算、条例の一部改正など15議案、諮問1件について、市長より提案理由の説明が述べられました。

5日は、議案第1号から第15号と陳情1件について、各常任委員会に審査を付託し、議案第12号については、先議の結果可決しました。11日・12日・13日の一般質問では、11名の議員が市政全般にわたり質問を行いました。16日・17日は、各常任委員会が開かれ、付託された議案等の審査が行われました。

20日の最終日は、各委員長から付託された案件の審査結果が報告され、採決した結果、議案第1号から第11号、第13号から第15号について、2人の議員から討論があり可決されました。次に、追加議案7件について、1人の議員から質疑の後、歳入歳出それぞれに3852万円を追加する補正予算等いずれも原案のとおり可決されました。諮問第1号については、適任と決定され、その後報告が1件ありました。次に、継続審査請願第16号、陳情第25号については、それぞれ1人の議員から討論があり、採決した結果、不採択となり、全日程を終了しました。

### 12月定例会の日程

3日(火)	本会議
5日(木)	本会議
11日(水)	本会議(一般質問4人)
12日(木)	本会議(一般質問4人)
13日(金)	本会議(一般質問3人)
16日(月)	福祉教育常任委員会 総務企画常任委員会
17日(火)	経済建設常任委員会
20日(金)	本会議

### 可決された主な議案

議案第1号 平成25年度香取市一般会計補正予算(第6号)について

教育費では、近年、夏季休業前後において猛暑日、真夏日の発生が多く見られ、今後こうした傾向がさらに進行することが想定され、平成26年度から2か年において、幼稚園及び小中学校の普通教室にエアコンの整備を計画的に実施します。幼稚園と中学校について、平成26年度予定工事の設計をするものです。

議案第11号 香取市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

災害公営住宅の建設に伴い、名称を「岩ヶ崎住宅」として、当該住宅を追加するとともに、東日本大震災により住宅をなくした方及び福島県の原子力発電所の事故発生時に避難指示区域内に居住していた方で、現に住宅に困っている方については、市営住宅の入居者資格を緩和するものです。

議案第13号 工事請負契約の締結について

佐原文化会館耐震補強・大規模改修工事について、9月18日に一般競争入札を行った結果、香取市佐原口 石井工業株式会社が、4億8163万5千円で落札し、同社と工事請負契約を締結するものです。佐原文化会館は、昭和55年9月に竣工した新耐震基準以前の建物で、耐震診断の結果、補強が必要とされている上、建築後33年が経過しており、建物及び設備等の老朽化が著しく、利用に支障が出ていることから、耐震補強及び大規模改修工事を実施するものです。

議案第21号 工事請負契約の締結について

(仮称)栗源市民センター整備工事について、12月5日に一般競争入札を行った結果、香取市佐原口 常総開発工業株式会社佐原支店が、3億3048万円で落札し、同支店と工事請負契約を締結するものです。(仮称)栗源市民センターは、栗源支所を市民活動推進の場及び市民の生涯学習の場としての機能を併せ持つ複合施設として整備するもので、工事の完成は、平成26年12月を予定しています。



# 一般質問 市政のこころがききたい

一般質問は、市長などに市政全般に関する疑問点や方針などをただすものです。

12月定例会では、11日(水)・12日(木)・13日(金)にかけて、11人の議員が、一般質問を行いました。紙面では、その一部を要約して掲載しますが、詳細については、議会ホームページ・会議録をご覧ください。(8頁に閲覧についての説明があります)

## 地域医療体制の充実が最重要課題

河野節子 議員

**問** 一次医療を担う開業医、診療科の地区別分布状況は。

**答** 開業医の数は佐原地区27、小見川地区7、山田地区3、栗原地区1です。診療科は内科23、外科8、整形外科10、小児科9、産婦人科1、眼科7、耳鼻咽喉科5となっております、内科は各地区にあります。

**問** 眼科や耳鼻咽喉科などは佐原地区に集中しています。

**答** 二次、三次医療の実態は。診療所などで扱えないような二次医療は県立佐原病院と小見川総合病院が、また、二次医療で対応できない脳卒中、心筋梗塞、頭部傷害などの三次医療は香取海浜圏域においては、旭中央病院がそれぞれ担っています。



特定健康診査

**問** 高齢者の人口分布と高齢化率の推移はどうなっているか。

**答** 合併当初から平成25年4月1日現在を比較すると、佐原地区は1万1577人で24.6%から1万2602人で28.8%に、小見川地区は5875人で23.2%から6987人で29%に、山田地区は2962人で26.8%から3096人で30.3%に、栗原地区は1416人で27.2%から1445人で30.4%となっております。

**問** 国保直診病院である小見川総合病院の存在意義。

**答** 国保直診病院は、公立の病院、診療所が医療水準の向上や民間医療機関の進出が期待できない地域において、医療確保等の必要性から設置されています。当然、医師不足地域をなくすという目的も含め、今日までできています。

**問** 高齢化の進行と医療の高度化などの要因が国民健康保険の医療費を増加させている。予防や健康づくり、早期発見、早期治療などによる医療費の抑制も重要な施策だが、国保のレセプトから判断できる疾病の特徴と健康づくり課と連携した事業は何か。

**答** 循環器系の疾患もつとも多く、次に内分泌・栄養及び代謝疾患、眼及び付属器の疾患の順となっております。これら疾病の特徴を踏まえ、香取市健

**問** 健康増進計画に基づいたがん検診の充実や疾病予防、早期発見等の効率的な健康づくり事業、健康教育、食育、健康相談などの事業に取り組んでいます。

**問** 健康診断の受診率の推移と向上策はどのように工夫しているか。

**答** 国保の特定健康診査受診率は県平均を上回り、39%前後で推移しています。未受診者への受診勧奨通知の発送、区・町内や自治会等地域への働きかけを進め、受診率の向上に取り組んでいきます。

**問** 今後の地域医療のあり方について市長に問う

**答** 地域医療は人任せにせず、医療従事者、地域住民、行政、そして私達議員も一緒に守っていかなくてはならない。もしも病院が無くなり診療所になってしまうということは、小見川区の住民にとって大変な不安をもたらす、反発も呼んでいるが、地域医療に対する今後のあり方について市長の構想を問う。

**問** 千葉県内各市町村の「前立腺がん」検診の実施状況について伺います。

**答** 平成24年度の県内の実施状況は、54団体が34団体が実施しており、このうち、集団検診で実施が16団体、個別検診で実施が12団体、併用で実施が6団体です。

**問** 男性特有の「前立腺がん」の罹患率が香取市でも増加していると推察されますが、罹患患者数の推移を伺います。

**答** 前立腺がんの罹患患者数については把握していませんが、前立腺がんによる死亡数は、平成20年が5人、平成21年が10人、平成22年が8人、平成23年が7人、平成24年が8人でした。なお、5年間の平均では、悪性新生物で死亡した男性の4.4%に当たります。

**問** 前立腺がん検診の早期実施を要望する

**答** 県内の多くの市町村が個人負担を徴収して実施しているため、その点を踏まえ検討していきま

**問** 緊急事態への対応には子ども安心カードが有効である

**答** 平成25年6月に群馬県渋川市が運用を開始した緊急時対応の「子ども安心カード」の取り組みをどのように評価していますか。

**答** 渋川市子ども安心カードは、緊急連絡先とともに受診医療機関、既往症、服用薬、アレルギー等が記載されています。また、市内全校で様式が統一されているので、救急隊員や医療機関に正確かつ迅速に情報が伝わり、大変有効な方法と考えます。

### 前立腺がん検診の早期実施を要望する

田代一男 議員

男性特有の「前立腺がん」の罹患率が香取市でも増加していると推察されますが、罹患患者数の推移を伺います。

**答** 県内の多くの市町村が個人負担を徴収して実施しているため、その点を踏まえ検討していきま

### 安心安全の力強い地域づくりを目指して

小林康良 議員

災害発生時の対応は、崖崩れ等発生した箇所は放置せず植林等の防災対策を周知させ、水害等発生箇所が予測できる場所は事前に対策をしておくべきではないか。

**答** 農道等の施設に被害があった場合には、道路機能の回復のために必要な面の保護を実施します。それ以外の部分については、民地に係る部分も含めて、個人での対応をお

### 市街地排水路整備で市民の生命と財産を守れ

台風26号は雨台風と

**問** して香取市に甚大な被害を与えました。浸水被害が大きかった佐原地区小野川流域市街地に対する今後の排水路整備について伺います。

**答** 被害を減らす対策の一つとして、合流改善事業を推進しています。平成25年度中に入船橋ポンプ場の処理施設整備が完了する予定です。今後、佐原小学校周辺の地区において、雨水を下水道管へは入れずに、直接小野川へ排水するための道路側溝等を整備する事業を計画し、推進することとしています。

いけると、県立佐原病院は香取市もしくは組合とかが担うんだというところを見直していただいて、県立佐原病院については、県にきちんと堅持していただくようお願いしたいということです。

**問** 香取市においても「子ども安心カード」の導入により「一刻を争う時の緊急事態に有効」と考えますが、導入についての見解を伺います。

**答** 現在、市内各小中学校、幼稚園で独自の緊急連絡カードを活用していますが、様式を統一する方向で見直していきます。その際、個人情報取扱いに十分配慮し、記載内容に

ついて、救急活用する方法、手順等、消防本部と十分協議を行っていきます。

**問** 市街地排水路整備で市民の生命と財産を守れ

台風26号は雨台風と

**問** して香取市に甚大な被害を与えました。浸水被害が大きかった佐原地区小野川流域市街地に対する今後の排水路整備について伺います。

**答** 被害を減らす対策の一つとして、合流改善事業を推進しています。平成25年度中に入船橋ポンプ場の処理施設整備が完了する予定です。今後、佐原小学校周辺の地区において、雨水を下水道管へは入れずに、直接小野川へ排水するための道路側溝等を整備する事業を計画し、推進することとしています。



願っています。冠水被害が発生しやすい市街地の地域には、排水ポンプ施設を設置するとともに、排水路の整備や土砂撤去などを行っています。



小見川図書館

は全国学校図書館協議会の選定基準を参考に、学校長が判断し選定しています。松江市では、あるマングの本の描写が子供たちの教育上問題ありとされ閉架措置になった。この本は香取市にもあるが対応は。

【問】 農作物の被害が予想される時の対応は。また、堆積した稲わら等の処理への対応策は整っているのか。

【答】 被害が予想される場合は、園芸・露地・果樹等の作物別に排水対策や病害対策などについて、関係機関と連携しながら対応しています。稲わら等については、野外での焼却処分は、法で原則禁止されていますが、災害の応急対策または復旧のために必要な場合は例外とされています。市では、稲わらの堆積被害が著しいことから、申請により焼却場への搬入手数料を免除しています。

【問】 土曜授業が平成26年度から実施できるが市は検討しているか。コミュニケーション力向上、学力格差を無くすためにも必要かと思うが。

【答】 学校で授業を行う形態と地域や企業の人材を活用して教育活動を行うような形態に分けて、指導者や内容、コミュニケーション能力の向上等の課題を整理しながら、平成26年度1年間かけて検討していきます。

【問】 市立図書館や学校図書館の本・資料は選定基準があるのか。

【答】 市立図書館・図書室については香取市図書館資料選定基準に基づき、また、学校図書館については

【問】 市の基幹産業である農業関係の新聞等資料を更に充実させるべきではないか。

【答】 農業新聞について関係部署と協議し農業関係資料として取りまとめ、図書館で閲覧できるように進めます。

【問】 今回の市長選挙と市議会議員の同日選挙を求める3千名以上の署名について、市長はどのように評価するか。

【答】 市民の皆様方の署名その陳情の重さを強く認識しています。これは、私も過去にそう思った一人でありますから、これを全く否定するものではありません。そして、この陳情が一つの大きな議論をするタイミングを作ったことは間違いありません。これを機に、ぜひとも慎重なご審議をしていただいで、議会として結論を頂戴できればと思います。

【問】 平成26年4月に行われる香取市長選挙と12月予定の市議会議員選挙を9か月前倒しして行う方法は。

【答】 議会の自主解散とリコールによる解散が

### 同日選で市民の血税 4千万円が財源になる 根本太左衛門 議員

【問】 同日選挙を行うことにより投票率のアップに繋がりますか。

【答】 投票率の向上が期待できると思います。即日開票と翌日開票のメリット・デメリットは。

【問】 同日選挙を行うことにより投票率のアップに繋がりますか。

【答】 翌日開票のメリットは、開票に係る人件費等の経費削減を図ることができると考えられます。公職選挙法では「選挙結果を速やかに知らせるよう努めなければならない」とされています。このため、国政選挙及び都道府

【問】 同日選挙を行うことにより投票率のアップに繋がりますか。

【問】 質問が重複しますが、次期市長選挙への意気込みについて言い足りないことがあれば答弁を。

【答】 伊藤議員の質問へのお答えのとおりです。香取市の復興と更なる飛躍のために、全身全霊を捧げて参る所存です。

【問】 質問が重複しますが、次期市長選挙への意気込みについて言い足りないことがあれば答弁を。

【答】 伊藤議員の質問へのお答えのとおりです。香取市の復興と更なる飛躍のために、全身全霊を捧げて参る所存です。

【問】 質問が重複しますが、次期市長選挙への意気込みについて言い足りないことがあれば答弁を。

【答】 伊藤議員の質問へのお答えのとおりです。香取市の復興と更なる飛躍のために、全身全霊を捧げて参る所存です。

【問】 質問が重複しますが、次期市長選挙への意気込みについて言い足りないことがあれば答弁を。

【答】 伊藤議員の質問へのお答えのとおりです。香取市の復興と更なる飛躍のために、全身全霊を捧げて参る所存です。

【問】 質問が重複しますが、次期市長選挙への意気込みについて言い足りないことがあれば答弁を。

【答】 伊藤議員の質問へのお答えのとおりです。香取市の復興と更なる飛躍のために、全身全霊を捧げて参る所存です。

【問】 質問が重複しますが、次期市長選挙への意気込みについて言い足りないことがあれば答弁を。

【答】 伊藤議員の質問へのお答えのとおりです。香取市の復興と更なる飛躍のために、全身全霊を捧げて参る所存です。

【問】 質問が重複しますが、次期市長選挙への意気込みについて言い足りないことがあれば答弁を。

【答】 伊藤議員の質問へのお答えのとおりです。香取市の復興と更なる飛躍のために、全身全霊を捧げて参る所存です。

【問】 質問が重複しますが、次期市長選挙への意気込みについて言い足りないことがあれば答弁を。

【答】 伊藤議員の質問へのお答えのとおりです。香取市の復興と更なる飛躍のために、全身全霊を捧げて参る所存です。

【問】 質問が重複しますが、次期市長選挙への意気込みについて言い足りないことがあれば答弁を。

【答】 伊藤議員の質問へのお答えのとおりです。香取市の復興と更なる飛躍のために、全身全霊を捧げて参る所存です。



香取市議会議場

【問】 同日選挙を行うことにより投票率のアップに繋がりますか。

【問】 同日選挙を行うことにより投票率のアップに繋がりますか。

【問】 同日選挙を行うことにより投票率のアップに繋がりますか。

【問】 同日選挙を行うことにより投票率のアップに繋がりますか。



市内に開設をされたものです。市では、新生児訪問事業などの事業を委託して支援しています。

**問** これからの人口減少施策の主な事業は。

**答** 婚活事業では、地域特性を生かしたさまざまなイベントや結婚に向けてのセミナー等を開催し、未婚者の縁結びを支援しています。これまでに9組の入籍があり、うち2組にはお子様が誕生しています。

**人口抑制には市内に働く場の拡充が必要**

**問** 企業誘致を積極的に進めているが最近の誘致実績は。

**答** 具体的な社名等は現時点では、公表できませんが、数社が立地向けての調査等を行っています。

**問** 香取市の就労実態と常住者の市外で従業状況は。

**答** 平成22年の国勢調査によると、本市の全就業人口は3万9730人で、従業地ごとに香取市内が2万3520人、市外が1万442人、県外が5057人などです。産業別人口は第一次産業が4779人、第二次産業が9346人、第三次産業が2万4535人、分類不能の産業が1070人です。

**問** 企業誘致の優遇措置の現状と、競争に打ち勝つための、優遇措置の更なる拡充など、企業誘致を後押しするような施策は。



工事中の旧ソニー小見川跡地

**答** 市では、優遇措置の拡充を図るために、

確保も大変重要なので、併せて検討していきます。

### 市長の政治姿勢について

伊藤友則 議員

**問** 香取市長として二期目を初年度から振り返り、取り組んできた施策などについて伺う。まず優先に取り組んできた点や、描く都市像、住民サービスの向上などは。

**答** 新市の一体感の醸成と笑顔があふれるまち、一人ひとりの市民が輝く、活気みなぎるやすらぎの郷、「香取」を将来都市像としてまちづくりを進め、基幹産業である農業や地域資源を活用した観光の振興、誰もが安心して暮らすことができるよう福祉の充実など、様々な分野で数多くの施策、事業を実施し、市民の皆様福祉の向上や市の発展を目指して来ましたが、

平成23年度から奨励金制度を地域トップクラスに引き上げ、企業の誘致を進めてきました。施策としては、立地企業に関する情報を提供した者に対する成功報酬を支払う制度の導入などを検討しています。また、立地企業を迅速に受け入れることができる用地の確保も大変重要なので、併せて検討していきます。

その後、地域の繋がりが重要になってきています。市では、「香取まちづくり条例」に基づく住民自治協議会の設置、運営を支援しています。

**問** その後のインフラ、生活基盤の復旧復興の現状や、そこから見直された地域コミュニティの在り方、組織運営の構築などについて所見は。

**答** 震災後、地域の繋がりが重要になってきています。市では、「香取まちづくり条例」に基づく住民自治協議会の設置、運営を支援しています。

現在23ある小学校区のうち17の地域で協議会が設置されました。少子高齢化や地方分権が進展している中で、本施策が市民の皆様主体的な取り組みで全市民に展開されることにより、地域コミュニティの持続的な発展に寄与するものと確信しています。

**問** さらに災害復興計画や総合計画における、今後の推進目標や動き、また、今後の香取市における、特色ある施策の計画などについて。

**答** さらに災害復興計画や総合計画における、今後の推進目標や動き、また、今後の香取市における、特色ある施策の計画などについて。

災害復興計画では、平成23年度から25年度までの3年間を「復旧・復興期」として、主に生活基盤の復旧や都市基盤の再建を目指す期間、そして、平成25年度を含む平成29年度までを「新たな展開期」として、暮らしやすく安心な香取市を構築する期間と位置付けています。また、平成25年4月からは、今後5年間に取り組むべきまちづくりの基本的な指針となる「香取市総合計画 後期基本計画」がスタートしたところです。その重点プロジェクトである「にぎわい」「げんき」「あんしん」の創造や、地域力と市民協働による推進体制により、震災前よりも更なる発展と活気あふれるまちづくりに邁進しているところです。特に今後は、橋ふれあい公園整備事業や都市計画道路「仁井宿と倉線」の整備、そして懸案の小見川総合病院と県立佐原病院のあり方などについて、全力で取り組んでいきたいと考えています。

### 香取市地域防災計画

**問** 合併した香取市の将来の在り方、市の持つポテンシャルなど未来に対する視点を伺う。

**答** 合併により誕生した香取市は、

まだまだ改革途上にあり、さまざまな課題が山積みしてありますが、将来を見据え財政基盤の更なる強化充実に努め、その上で、市民の皆様が望まれている事業を、優先順位を踏まえ、強力に推進いたします。

**答** 先ほど申し上げましたように、平成25年度から29年度までは、災害復興計画では新たな展開期として、暮らしやすく安心な香取市を築く期間として、後期基本計画の遂行で合併後10年間を見据えた総合計画を仕上げてゆく期間です。こうした計画を仕上げることも、合併特例期間の終わる平成27年度以降に向けて、香取市が立ち行かなくなることはないよう、財政基盤の強化充実に努めなければなりません。これらの大いなる目標を達成するため、私のこれまでの経験と持てる力を全てつぎ込む所存であります。ここに、次期市長選挙への出馬を表明させていただきます。

### 市長選挙への出馬は

**問** 平成26年4月に予定されている香取市長選挙へ出馬をするご意思は。

山田、古内地区の悪臭問題に対する指導は

### 山田、古内地区の悪臭問題に対する指導は

宇井正一 議員

**問** 山田、古内地区に堆肥もどきのものが大量に搬入されて、住民は窓が開けられない、悪臭がひどいなどの環境問題が起こっています。この発生源の会社は産業廃棄物処理業・国の肥料登録を取っています。適正に処理されていなければ悪臭は出ないのではないかと。また、運搬業者は、JAかとり施設内に本店を置いているが事務所は存在していません。業務執行は可能なのか。香取市も取引先となつているが、問題のある企業との取引実態はどのように

なっているのか。

**答** 市では、平成25年3月に地区住民から悪臭の相談が寄せられてから、その都度現地の状況を確認して、繰り返し搬入業者に、悪臭防止対策の指導をしてきました。また、処理施設の許認可者の千葉県廃棄物指導課、市及び香取地域振興事務所等が施設の立入調査を実施し、完熟した堆肥以外は搬出しなさいということを強く指導してきました。これにより、現在は新たな搬入はない状況です。今後関係機関に産業廃棄物の

適正指導を働きかけながら近隣住民の生活環境悪化防止に努めていきます。市では、山田学校給食センターの浄化槽汚泥の処理を委託した業者が、収集運搬業者の処分先として当該業者を持ち込んでいました。平成22年12月以降の取引はありません。

### 小見川総合病院をサテライト化せずに県の方針転換を

**問** 地域医療のあり方について宇井市長は、千葉県の保健医療計画を変えて、県が県立病院を運営していく事を要請してきたと見解を発表されました。今後どのように県にこのことを働きかけていくのか。小見川総合病院をサテライト化しなくてもいいのではないかと。

**答** 県の保健医療計画では、高度専門医療に特化し、地域医療については地元市町村に委ねる方針のため、これを地域の現状に配慮した内容に改める必要があります。知事との意見交換会では、直接知事に保健医療計画の見直しの検討をお願いしました。また、早期の見直しができるよう、県の自民党県議団、共産党県議団からもご支援を受けながら、今後も粘り強く県と協議を重ねていきます。また、平成26年度には、県立佐原病院と国保小見川総合病院の病床の一部を統合して、県立佐原病院を統合病院として、国保小見川総合病院を統合





病院のサテライト診療所とする内容で、地域のニーズに合った医療体制の整備に向けた調査、研究を医療専門のコンサルタントに委託し、香取市の将来のあるべき形、医療の体制を県に示していきたいと考えています。

**答** 香取市シルバー人材センターは平成18年4月の合併から7年半以上経過し、利用金額と会員数が減少し続けており、運営が厳しい状況です。運営に係わる経費は、主に利用金額に含まれる事務費収入、国及び市からの補助金、会員の会費で賄われています。市の補助金削減に対して、市が補填するのは、市の財政状況等を考慮すると非常に難しい状況ですが、現在、市が発注している業務については、今後も引き続きお願いする予定です。市としては、センター事業の公益性を考慮し、補助金の交付など支援を継続しますが、自立して経営ができるよう、さらなる経営改善の努力を促してまいります。

**問** 香取市シルバー人材センターのあり方として、山田地区には事務所を再度置き、小見川地区の廃止の方針は撤回すべきではないか。

**答** 香取市シルバー人材センター(佐原本部事務所(佐原口))



香取市シルバー人材センター(佐原本部事務所(佐原口))

性や考慮し、補助金の交付など支援を継続しますが、自立して経営ができるよう、さらなる経営改善の努力を促してまいります。

**答** 生活保護は最後のセーフティーネットであり、生活困窮者の相談支援に努めて、必要な人が必要な支援を受けられるよう、また、申請権の侵害にならないよう、適切に対応してまいります。

**問** 保護を受けた子どもが成人して、また保護を受けるといふ負の連鎖をたちきるために、子どもの貧困対策は。

**答** 平成27年度から生活困窮者自立支援法が施行されることとない、モデル事業として自立支援、就労支援等の取り組みを始めた。子どもたちの学習支援体制の構築に向けて調査・研究を進めています。

**問** 放課後児童クラブの拡充の方向性は。

**答** 今後、子ども・子育て支援の新制度の基準に対応した、小学校6年生までを対象とし、障害のある児童の受け入れはもとより、待機児童が発生しないよう継続して整備を進めてまいります。

**問** 住宅リフォーム助成制度で市内産業の活性化を

**答** 中小零細業者の仕事起こしで経済波及効果が期待され、良好な住環境を願う市民から待たれている制度の創設を求めます。

**問** 安全・安心な住宅の確保という意味において、耐震化やバリアフリーとかいろいろなものを組み合わせて行っていくべきと思います。ニーズ等も含め研究していきたいと考えています。

**答** 安全・安心な住宅の確保という意味において、耐震化やバリアフリーとかいろいろなものを組み合わせて行っていくべきと思います。ニーズ等も含め研究していきたいと考えています。

**問** 生活保護法改正に対して市の対応は

**答** 生活保護法改正は、生活保護の入り口を狭くする法改正に市の対応は。

**問** 水際作戦の合法化、扶養義務の義務化等生活保護の入り口を狭くする法改正に市の対応は。

**答** 上下水道料金について、消費税分の改定はやむをえないものと考えます。



台風26号によるがけ崩れ(長岡地区)

**問** 台風26号被害に対する市の支援策は。急傾斜地崩壊対策事業補助交付金要綱は実態にあつたものに見直しを。

**答** 今回の台風26号の被害に限り、補助金の交付基準の高さ5m超を4m超に緩和し対応したいと考えています。

未来に輝く香取市、安全・安心なまちづくりをめざして 小野勝正 議員

**問** 必要度が増す地域密着型介護予防サービスを機能強化せよ

**答** 比較的低額で入居可能な多床室の整備も必要なことから制定したものです。これにより、多床室を持つ介護老人福祉施設が整備しやすくなっています。指導・監督については、市が定期的に現地検査等を行っています。

**問** 地域密着型サービス事業に関する条例を平成24年12月に制定したが、市民へのメリットは何か。

**答** 市では、指定地域密着型介護老人福祉施設の居室の定員を、今までの国の基準の2人までから4人までに変更しました。これは介護老人福祉施設の入居待機者が多いことや、

**問** 法令による設置義務のない小規模な地域密着型介護サービス事業所のスプリングクローの整備状況はどうなっているのか。

**答** 設置義務のない延べ床面積275㎡未満の施設で、スプリングクローが未設置の事業所が市内で2か所あります。1事業所は平成25年度中に補助金を活用しスプリングクローを設置予定、1事業所は平成26年度の設置に向けて協議中です。

**問** 地域包括支援センターの現状と今後の機能強化については、どのように考えているのか。

**答** 地域包括支援センターは主に4事業を行っています。1は主に4事業を行っています。2は主に4事業を行っています。3は主に4事業を行っています。4は主に4事業を行っています。

**問** 危険家屋の中には投資を目的に購入されない方が現状です。所有者が遠方で、空き家の状態把握が行われていないために、管理不十分なことも改善されない要因の一つと認識しています。

**答** 空き家の問題はその内容により担当部署が異なる。各種団体の代表で構成する検討委員会を発足する必要があるのではないか。

**問** 先進事例等を参考にし、空き家危険住宅の対応を調査研究して、検討したいと考えています。

**答** デマンドタクシーの利用状況と問題点は出ているか。

**問** パンフレットでお知らせするほか、介護サービスを利用する際、重要な役割を担うケアマネー

**答** 介護保険パンフレット



介護保険パンフレット



**答** 平成25年10月から小見川東、南、中央地区において試験的に運行しています。運行開始後2か月が経過し、徐々に浸透してきており、利用者数は増えてきています。現在のところ、利用者の方から待ち時間の発生や乗り遅れに対しての問い合わせはありません。

### 小見川産業用地(旧ソニー小見川跡地)の今後の見通しは

高木 寛 議員

**問** 香取市は、平成25年3月、無償譲渡による公募の結果、優良企業3社の進出が決定した。しかし、最近、最大規模の会社が撤退することになったが、その主な原因とそれに対しての市の対応はどうであったか。

**答** 事業予定者のオートリブ株式会社の辞退は、同社スウェーデン本社が、投資先を日本から他国に変更したためです。同社の経営に係わることなので、この申し入れを受け入れました。

**問** その用地2・6haが空地となったが、今後の利用計画は。

**答** 早期の企業立地に向けて、今後も積極的に誘致活動を行います。現状の企業の応募状況は。

**問** 具体的な企業名は公表できませんが、企業訪問などを行った結果、数社がこの用地に関心を示しています。その中には当該用地を有力な候補地として検討している会社がありますので、今後、当該用地について前回と同様の方法

**問** 測量作業は、平成26年3月に完了する予定です。平成26年5月頃には事業者の公募が開始できると考えています。

**問** 誘致する施設の規模及び雇用等を含めたその効果は。

**答** 特別養護老人ホームの定員は100人を用意しています。同規模の施設を参考にすると、正社員、パート等を含めて、80人から100人程度の雇用があると考えます。

**問** 高速バス駐車場など、近隣市民からの跡地の利用に対する要望が多いと思うが、市においての検討状況は。

**答** 用地は、香取市のほぼ中心に位置する利用価値の高い土地ですので、地元の皆様の意見を広く聴取し、市として有効活用できるとような施策を検討していきます。

**問** 国道356号の今後の整備状況と香取市の対応は。

**答** 国道356号は、この地域の幹線道路である。今後の整備予定及び香取市としての対応は。

す。このため、平成25年10月に測量業務委託契約を締結し、作業を進めています。今後の整備予定は。

**問** 測量作業は、平成26年3月に完了する予定です。平成26年5月頃には事業者の公募が開始できると考えています。

**問** 誘致する施設の規模及び雇用等を含めたその効果は。

**答** 特別養護老人ホームの定員は100人を用意しています。同規模の施設を参考にすると、正社員、パート等を含めて、80人から100人程度の雇用があると考えます。



国道356号(水郷駅前付近)

のほ、篠原拡幅、小見川東庄工区の整備ですが、佐原小見川バイパスの整備は、これら事業の進捗状況を勘案し、検討していくと聞いています。市街地の混雑緩和、歩行者の安全確保及び同地区の活性化等と密接に係わる重要な事業であることから、沿線市町と協力して千葉県に対して事業の早期完了及び佐原小見川バイパス整備の早期着手について、これまでどおり粘り強く要望活動を行っていきます。

### 伊能忠敬大河ドラマ化に向けて積極的協力を

伊能敏雄 議員

**問** 市長も積極的に支援する大河ドラマ化の推進団体がある。市の協力体制は。

**答** 伊能忠敬NHK大河ドラマ化運動には、市民発の推進運動が始まった当初から市として参加をし、これまでに事業支援補助金の交付、行政関係等との連携運動、またNHKへの要請活動等に関わっています。大河ドラマの放送はPR効果が非常に大きく、多く



伊能忠敬翁の銅像(佐原公園)

**問** 土地改良による圃場整備の推進を願う

**答** 農業基盤整備で、森戸耕地の土地改良事業で事前予算がついた。こうした動きを今後も他地区へ推進するのかが。

**問** 整備が必要ない地域は多くあります。当然、今回のケースが実績となるため、これを踏まえて支援をしていきたいと考えます。

**問** アレルギー対応食は平成26年4月から開始する確約が、変更となるのか。開始予定は。

**答** アレルギー対応食の提供については、平成26年4月の実施に向け準備を進めているところですが、現在、国において学校給食における食物アレルギー対応に関して本格的な対策を検討を行っています。このため、国の検討結果に基づき再検討を行い実施することとなりますので、提供開始は4月より若干遅れる見込みです。

**問** 青少年育成に関係する各団体への市の関わりとするものは何か。

**答** 青少年相談員、ジュニアリーダーの育成については、子ども会活動のフォローをしているアシスト委員会や支援グループの協力を得ながら活動の強化・充実を図っていききたいと考えます。

**問** 水上スポーツは小見川地区の看板の一つ。レベルアップを考えるべきか。

**答** 多数の本市出身の選手が全国大会や日本代表として活躍しています。人材はもとより環境的にも高い評価を得ており、今後は全国有数の地域特性を生かし、指導体制の充実を図り、若年層から親しめる体制を作ります。

**問** カヌーやレガッタ大会の開催や練習状況は。

**答** 水上スポーツ競技にニティーセンターの利用は、年間約20団体、延べ1500名ほどです。企業、大学等の競技団体が春から秋にかけて合宿等で利用しています。

**問** 以前行われたカヌー学生選手権の再誘致は。

**答** 水上スポーツの振興、地域経済への波及効果等を総合的に判断し、本大会の再誘致に向けて、大会を所管する学生連盟と調整を図っているところです。

**問** 歴史的建造物の三菱館修復計画は進んでいるか。

**答** 一般の建築物と違い構造等個々に特徴が異なることから、耐震を含めた修復案を決定するに当たっては、調査に係る技術者等の意見をよく伺いながら進めます。

**問** 修復に他県の事例を参考にすることや当時建築に関わった現大建

設会社の協力を得ることなど多面的検討をされては如何か。

**答** 修復を行う上では、文化財としての価値を損ねることのないように、いくつかの制約にない、他の類似する事例などを参考に進めたいと考えます。

**問** 神楽の保存継承に於いて行政の関わりは。

**答** 香取市伝承芸能保存連絡協議会や子ども会などとの連携により、若年層を対象とした後継者育成を図り底辺の拡大に努めます。

**問** 伊能忠敬の教育現場での取り組みは。

**答** 忠敬記念館の利用については、校長会・教頭会を通じ各学校へ依頼しており、今年度の利用は18校となる見込みです。また、DVD等の資料を活用しながら進めています。

**問** 高齢者の投票率向上策について。

**答** 前回の千葉県知事選挙から今の投票区で行っている状況の中で、事例を挙げて研究はしていますが、具体的には進んでいません。

**問** 投票経費削減案提案に関して如何か。

**答** 民間人として、高校生あるいは派遣会社からの職員による選挙事務の執行について、具体的に当日の選挙日に人員を確保することが可能かどうかも含め、検討していききたいと考えます。



# 各常任委員会の審査から

12月5日(木)の本会議で各常任委員会に付託された案件の審査を12月16日(月)・17日(火)に行いました。陳情第25号については、参考人として3名の方の出席を求めました。

ここでは、各委員会の審査内容を質疑と答弁などに要約して掲載します。

## 総務企画常任委員会

**問** 議案第1号 平成25年度香取市一般会計補正予算(第6号)について、橋梁長寿命化対策事業について、委託業者による入札不調とのことであるが、市が設計・発注することはできないか。

**答** 高速道路の上に乗架かっている橋であるため、下の交通の妨げにならないよう作業のノウハウを持つている高速道路会社に委託するのが有利と判断し、他市の状況と同様に進めています。

**問** 策事業を実施する学校は、平成26年度に小見川東小、第一山倉小、八都第二小、府馬小、栗源小の5校、平成27年度に小見川中央小、小見川南小、山倉小、八都小の4校と栗源中学校の工事を予定しています。

**意見** 香取市からわずか70kmの地点にあり、国が示した耐用年数は40年という中で、建設後約36年が経過しています。市民の命と健康を守り、この地域の産業を安定させていくうえから、本要旨に沿った形で採択すべきと思います。

**問** この陳情書の中に、会として合併時よりこの事に危惧されて、会を組織して、検討されたと推測されます。本来であれば、早い段階で、同日選という提案をされるべきではなかったか。今回の新聞報道によれば、3年前に会が立ちあがったことになっています。どちらが事実なのでしょう。

**答** (参考人) 当初、合併直後に会合を持った段階では、正式な組織として立ちあげはしていません。段々と人数が増えてきているのですが、現状では30名弱です。協議の中も当時は、合併問題だけではなく、全体的な情報交換も含めて行っていました。

**問** 議案第4号 平成25年度香取市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)について、健診対象者の受診率は、平成25年度は、26.3%の見込みです。平成23年度から集団健診に加え個別健診を導入したことにより受診率は着実に上がっています。

**問** 議案第2号 平成25年度香取市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)について、施設が老朽化しているが、今後の修繕計画は。搬入された汚泥の還元事業は。

**問** 議案第2号 平成25年度香取市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)について、施設が老朽化しているが、今後の修繕計画は。搬入された汚泥の還元事業は。

**問** 街なみ環境整備事業は小野川沿いの景観的にも一番良い場所である。今後の活用方法は。

**答** この敷地の前面に町屋を新築し、奥に小公園を整備します。双方を一体的に活用して、賑わいの促進と交流機会の向上を図ります。

**反対討論** 日本は技術力と安全にかける政府の方針を加味しながら、原子力安全規制委員会など専門家に判断を委ね、国のリーダーシップに期待します。

**問** 合併から今日までの数であれ、そのような話があったと思います。市民有志の会として、こういう活動をしているということが、他の市民や議員同士からも、また、地元の議員からも、聞く機会はありませんでした。議会改革検討特別委員会というものを、ご存知ですか。議長あての手紙、市長への手紙等もあります。

**問** 議案第13号 工事請負契約の締結について、佐原文化会館の耐用年数は、改修の内容は。

**問** 議案第5号 香取市風致地区条例の制定について、県では風致地区についての許認可は2週間程かかるが、市ではどのくらいの期間か。

**問** 議案第11号 香取市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について、現在、建設中の災害公営住宅は、東日本大震災で被災した市民のみの入居となるのか。

**問** 議案第11号 香取市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について、現在、建設中の災害公営住宅は、東日本大震災で被災した市民のみの入居となるのか。



エアコンが設置されている新島中学校のコンピューター室

**要望** 町屋の建設に当たっては、観光客や、近隣の住民、利用者から将来的にもよい印象を持ってもらえるよう、当該地区の修復に関わっている町屋研究家や地元ボランティアと話をしながら進めていきたいと思います。

**賛成討論** 福島第一原発の事故以来、価値観を転換しなければならぬ時期に入りました。

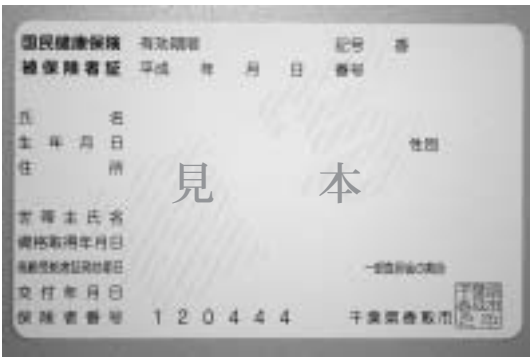
**問** 議案第4号 平成25年度香取市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)について、健診対象者の受診率は、平成25年度は、26.3%の見込みです。平成23年度から集団健診に加え個別健診を導入したことにより受診率は着実に上がっています。

**問** 議案第13号 工事請負契約の締結について、佐原文化会館の耐用年数は、改修の内容は。

**問** 議案第5号 香取市風致地区条例の制定について、県では風致地区についての許認可は2週間程かかるが、市ではどのくらいの期間か。

**問** 議案第11号 香取市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について、現在、建設中の災害公営住宅は、東日本大震災で被災した市民のみの入居となるのか。

**問** 議案第11号 香取市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について、現在、建設中の災害公営住宅は、東日本大震災で被災した市民のみの入居となるのか。



国民健康保険被保険者証

**答** 鉄骨鉄筋コンクリート構造は45年と言われています。佐原文化会館は、建築後33年が経過しており、今回の工事により今後25年から30年の耐用年数が見込まれます。工事は耐震補強に

**答** 事後処理に関して県と調整をし、県の処理期間に合わせていきます。開発などをする場合、風致地区条例の基準によっては足かせとなるのでは。基準はどのようになっているのか。

**答** 新しく制定される条例では、各基準のほ



建設中の災害公営住宅(岩ヶ崎地区)

## 経済建設常任委員会

**反対討論** 加え、大規模改修工事を行います。この主な内容は、建物修繕工事、音響・空調設備、また、玄関入口の自動ドア化、ロビー床の平面化、手すり等を設置します。

する条例の制定について、地方税法等の改正は、消費税増税をはじめとして課税強化の方向にある。株式の配当、譲渡所得は富裕層の税負担を著しく引き下げる要因になっている。それを更に優遇することは格差拡大を促進することになるこの制度に反対します。



# 12月定例会 議員別の採決結果一覧

◆12月定例会の傍聴者数 59人

議案名等		議員名等	審議結果	小野	郡茂	小林	田代	奥村	鈴木	高木	高木	宇野	伊能	林敏	田山	高岡	眞本	坂部	伊藤	柳田	坂本	林幸	河野	平松	堀越	根本	木内	宇井
議案第1号(総務企画)	平成25年度香取市一般会計補正予算(第6号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号(経済建設)	平成25年度香取市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号(経済建設)	平成25年度香取市下水道事業特別会計補正予算(第3号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号(福祉教育)	平成25年度香取市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号(経済建設)	香取市風致地区条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号(総務企画)	香取市税条例の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
議案第7号(福祉教育)	香取市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
議案第8号(経済建設)	香取市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
議案第9号(経済建設)	香取市下水道条例の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×
議案第10号(経済建設)	香取市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×
議案第11号(経済建設)	香取市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号( )	東庄町と香取市の火葬に関する事務の委託に関する規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号(福祉教育)	工事請負契約の締結について(佐原文化会館耐震補強・大規模改修工事)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号(総務企画)	専決処分の承認を求めることについて(専決処分第12号 平成25年度香取市一般会計補正予算(第5号))		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号(経済建設)	専決処分の承認を求めることについて(専決処分第13号 平成25年度香取市簡易水道事業会計補正予算(第2号))		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号( )	平成25年度香取市一般会計補正予算(第7号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号( )	平成25年度香取市下水道事業特別会計補正予算(第4号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号( )	平成25年度香取市水道事業会計補正予算(第3号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号( )	香取市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号( )	香取市火葬場及び霊柩自動車の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号( )	工事請負契約の締結について((仮称)栗源市民センター整備工事)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号( )	工事請負契約の変更について(香取市立小見川東小学校校舎大規模改修工事)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号( )	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(香取市大根 田中量教氏)		適任者と決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第16号(総務企画)	東海第二原子力発電所の再稼働を認めず、廃炉を求める意見書提出を求める請願		不採択	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	
陳情第25号(総務企画)	市長・市議会議員の同日選挙を求める陳情		不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	

※ 議長(林 幸安議員)は、採決に加わりません。 ※ 議案番号下の( )は、付託委員会名です。 ○:賛成 ×:反対 欠:欠席 除:除斥

## 3月定例会の日程

- 2月24日(月) 本会議
- 26日(水) 本会議
- 3月4日(火) 本会議(一般質問調整日)
- 5日(水) 本会議(一般質問調整日)
- 6日(木) 本会議(一般質問調整日)
- 7日(金) 予算審査特別委員会
- 10日(月) 予算審査特別委員会
- 11日(火) 予算審査特別委員会
- 12日(水) 総務企画常任委員会  
福祉教育常任委員会
- 13日(木) 経済建設常任委員会
- 19日(水) 本会議

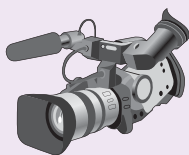
※請願・陳情の3月定例会での受け付けは、2月13日(木)午後4時までとなります。

## 市議会会議録の閲覧・議会中継の視聴について

◆ 香取市ホームページから市議会のページを選択されるか、香取市議会ホームページから「会議録検索」・「議会中継」をクリックしますと定例会・臨時会の会議録の閲覧や議会中継の視聴ができます。  
 会議録・・・12月定例会の会議録がご覧いただけるのは、2月中旬になります。  
 会議録は市役所(本庁)1階の情報コーナー及び6階の議会事務局、佐原中央図書館・小見川図書館でも閲覧できます。

議会中継・・・定例会・臨時会のライブ中継は、香取市議会ホームページ及び本庁・各支所で視聴ができます。また、録画映像は、おおむね1週間後から視聴できます。

12月定例会のライブ中継視聴件数 延べ578件



☆ 香取市ホームページ

<http://www.city.katori.lg.jp/>

☆ 香取市議会ホームページ

<http://www.city.katori.lg.jp/gikai/>

詳細は、議会事務局までお問い合わせください。TEL 50-1217